

## ソーシャルワーク専門職の養成に関する社会的動向と展望 ～個別支援と地域支援に取り組むソーシャルワークを目指して～

### 【開催趣旨】

2018年3月27日、社会保障審議会福祉部会福祉人材確保専門委員会の報告書「ソーシャルワーク専門職である社会福祉士に求められる役割等について」が公表され、地域共生社会の実現に向けたソーシャルワーク専門職に対する社会的な期待が示されました。

しかしながら、日本ソーシャルワーク教育学校連盟（当時：日本社会福祉士養成校協会）が平成28年度厚生労働省社会福祉推進事業において実施した社会福祉士を対象とした全国調査では、多くの社会福祉士が地域を対象とした支援に十分取り組めていない現状が明らかになっています。このような状況を踏まえて、改めてソーシャルワークに携わる専門職には“地域への支援”を含めたソーシャルワーク機能の充実と強化が求められています。

現任のソーシャルワークに携わる専門職が、個別支援と地域支援の両方を見据えたソーシャルワーク機能を発揮していくためには、所属組織・団体や職能団体等が各々に研修等の人材育成に取り組むだけでなく、ソーシャルワーク専門職の養成校（大学・専門学校）も含めた“学び合いのプラットフォーム”を構築することで新たな学びの体系を創出していくことが有効と考えられます。このような新たな形として実践現場と養成校とが協働することにより、ソーシャルワークに関する実践・研究・教育を一体的に推し進めていくことが重要です。

北海道では養成校団体である日本ソーシャルワーク教育学校連盟北海道ブロックを中心に、各職能団体、行政機関、経営者団体、福祉事業者等で委員会を構築し、ソーシャルワークに関する実践現場と養成校とが協働する土台としてのプラットフォーム構築について検討し、現任のソーシャルワークに携わる専門職を対象とした研修を実施することとしました。

皆様と一緒に、今日のソーシャルワークに求められていること、それらの期待に応えるためのソーシャルワーク本来の役割について改めて学びを深める機会としたいと考えております。

**日 時**：2019年2月16日（土）11：00～17：30

**場 所**：札幌国際ビル 貸会議室 国際ホール

札幌市中央区北4条西4丁目 さっぽろ駅 8番出口横

**対 象**：現在ソーシャルワークに関わる専門職として実践現場に勤務されている方

⇒市町村社会福祉協議会職員、社会福祉法人職員、社会福祉施設の職員（相談職等）、

医療ソーシャルワーカー、地域包括支援センター職員、精神保健福祉士、社会福祉士、

介護支援専門員、相談支援専門員、行政職員（福祉職や福祉関連課に勤務される方）等

**参加費**：無料

**主 催**：日本ソーシャルワーク教育学校連盟 北海道ブロック

**共 催**：北海道社会福祉士会、北海道医療ソーシャルワーカー協会、北海道精神保健福祉士協会

**後 援**：札幌市、札幌市社会福祉協議会、北海道社会福祉法人経営者協議会、

北海道地域包括・在宅介護支援センター協議会

10:30	受付開始	
11:00	開会挨拶	伊藤 新一郎(ソ教連北海道ブロック 会長)
11:10	ソ教連 平成 30 年度 厚生労働省 社会福祉推進事業に関する説明	畑 亮輔(北海道委員会 事務局)
11:30	基調講演① 「ソーシャルワーク専門職の養成に関する社会的動向」	白澤 政和 氏(ソ教連 会長、桜美林大学大学院 教授)
12:40	昼休み	
13:30	基調講演② 「ソーシャルワークによる個と地域への支援」 —ソーシャルワーク機能とソーシャルワーク(専門職)実践—	米本 秀仁 氏(北星学園大学 名誉教授)
15:00	休憩	
15:10	ソーシャルワーク実践報告 「個と地域との一体的支援及びソーシャルワーク専門職の養成」	清野 光彦 氏(北海道社会福祉士会 会長、NPO 法人小さな手)
15:40	休憩とレイアウト変更	
15:55	グループワーク 「これまでのソーシャルワーク実践の評価と今後の目標」	
17:15	総括	米本 秀仁 氏(北星学園大学 名誉教授)
17:25	閉会挨拶	

調整中

＜お申込み方法＞

以下の URL より必要事項を入力して研修会へのお申し込みをしてください。

<https://ssl.form-mailer.jp/fms/d8f381ea604210> (QR コードからもお申込みいただけます)

＜お問い合わせ先＞

日本ソーシャルワーク教育学校連盟 北海道ブロック

E-mail : [socialwork.ed.hokkaido@gmail.com](mailto:socialwork.ed.hokkaido@gmail.com)

